
紳士或イハ猛獣。
1
富豪に奪われた乙女の純潔
虎井シグマ
Sigma Torai

紳士、或イハ猛獣。
～富豪に奪われた乙女の純潔

第　1　話


まって
いかないで
遠く離れても私の心は永遠に貴女のお傍に――――
…浅井(あざい)…
…また
この夢


ちょっと雰囲気の良くないお客さんだから気をつけて
藤田さん壱番テーブルに珈琲を頼むよ
はい！
こそ
やはは
お待たせ致しました珈琲で御座います
おっ お嬢さんこんなとこで働いて金に困ってんのかい？
さわ
きゃ。
ニヤニヤ
金ならやるから隣に座ってくれよ俺達とお話しようぜ
…っ


お、お客様
困ります…！
チップは
はずんでるんだ
カフェーなら女給を
席につけるくらい
当然だろう！
うちでは
そういった
サービスは…
そんなはした金じゃ
足りないと言ってるのが
分からないのか？
何？
か、風戸さん
！


店主
この藤田小夜(ふじたさよ)さんを
席につけてもらうぞ
NIPPON GINKO
ひらっ
おはよう
小夜さん
今日も
麗しいな
こ、これは風戸様！
本日もようこそ
さあさ
どうぞ奥の
お席へ
お前らも
いい女を隣に
置きたければ
金を積め
お、おい
お前…っ
ガタ
ぐ


さあ
小夜さん
今日も俺の
話相手を
してくれ
…風戸さん…
うちはそういう
お店じゃないと
何度言ったら分かって
下さるんですか
店主の承諾は
得ているだろう
助けてくれたのは
感謝しますが
あ、あんなに
出されては
普通断れません
大体あれほど
払うならもっと
相応しいお店が…
俺は君が淹れてくれる
珈琲が飲みたいんだ
……


風戸正臣（かざとまさおみ）さん
海運業の実業家で
巷では船成金と呼ばれる
大金持ち…らしい
何故かこの小さな
喫茶店に頻繁に
通っては
こうして私を席に呼んで
他愛もない世間話を
していく
新聞
私がそんなに
面白い話を
出来てるとは
思えないのだけど…
そういえば…
最近 友人が遊女に
入れ込んでてな
カチャ
相当夢中で毎日のように
通いつめているらしい
まあ…素敵では
ありませんか
素敵？


だって愛しているから
毎日でも逢いに
行くのでしょう？
想いが通じるといいですね
……
…そうだな
世間では遊女に惚れるなんて、と笑われるが…
俺も
そちらの方が
利口だと思う
金さえ払えば
好いた女を
抱けるんだ
どんなに想っても
指一本触れられない
ほうが
…よほどつらい
ドキ。


な、何を仰ってるんですか
こんなところで…
はは 君にはまだ刺激が強かったか
すまない
…ん？
人攫い多発
夜道での外出に注意すべし
人攫いか…この辺りだな
どうしました？
最近 若い女性が攫われる事件がおきているらしいな
…小夜さん帰りは遅いんだろう？
夜道は心配だ送らせてくれないか？
ありがとうございますでもすぐ近くの長屋なので大丈夫ですよ
…そうか？
…なら気をつけて帰れよ
ええ


…真っ暗
今夜はお月様も
隠れているのね
灯りを
持ってくれば
良かった…
!?
何な…!?
この人達
今朝の…
成金様のお気に入りだ
きっと高く売れる
だろうよ


さあさあ
お待ちかね！
本日の
目玉商品です
御覧ください
ただの女給娘とは
思えない
…こ、こは…？
透き通る
白い肌
流れる
絹の髪
なに…？
高貴さすら
感じられる
この少女
愛でるもよし
奴隷として
飼うもよし
この人達は一体
何をしているの？
さあ
どうぞ！
弐百
参百伍拾
伍百


それに、この匂いは
何…？
身体が
熱い…
千二百
千二百！よろしいですか？
三千
おおっとこれはすごい！他にいらっしゃいませんか!?
…ありがとうございます！皆様盛大な拍手を！
パーイ
パーイ
パーイ
私…売られた、の…？


——だれか
今日からこの方がお前のご主人様だ
可愛がってもらえよ
ゾワ
…
たすけて
ちっ
さっさと歩け…っ
ふら
…まあいい帰ったら存分に…
くそ…香にあてられたか…？


おや
山浦子爵
ギク
風戸汽船の…
お、お前は…
夜会にしては
随分お早い
お帰りですね
あ、ああ
連れが気分を
悪くしてな…
おや
そうですか
実は今日
私も招待されて
ましてね
…てっきり
よいお買い物を
されたのかと
ち…
結局仕事で不参加ですが…
…知って
いたのか
…相変わらず
嫌味な男だ
それにしても
珍しい物が手に入るとは
聞きましたが まさか
人まで売っているとは…
山浦子爵も
良いご趣味を
お持ちで
…ふん
おいくら
でしたか？
…は？


いくらで娘を
落としたのかと
聞いてるんですよ
くく…
先日の子爵の夜会
大変豪勢だったと
聞きましたよ
見栄を張るのも
大変でしょう
何…？
な…っ
き、貴様
華族である私を
愚弄する気か…!!
言いたいことが
あるならはっきり
言え!!
十倍だ
は…？
貴方が落札した
十倍の額を出すので
その娘譲って
頂きたい


な、何を…
会場でも見栄のために落札したのでしょう？
あなたの体裁は守られさらに上乗せされた金が手に入る
一石二鳥ではないですか
風戸汽船に恩も売れる
…いや三鳥かな
…金はいつ渡す
く…
…無論
パタン


即金で
小夜さん
大丈夫か
しっかり
するんだ
…この声…
風戸、さん…？


助けてくれたの…？
この香り…興奮剤か…
そんなに強いものではなさそうだが相性が良すぎたか…
大丈夫だすぐに医者に…
でも…
ぎゅっ
小夜さん…？
…あ…い…
か、らだがあつい、の…
たすけて…っ


…っ
…はあ…
こんなつもりでは
なかったと
言い訳したいが…
今の君には
聞こえない
だろうな…
すり
ビク
は…
あ…
かぎとられ
すする
この好機を
逃せるほど
俺は紳士では
ないぞ
…悪いが…


ちゅ。
なで…
ピクン
ん…っ
一度達して興奮が収まれば楽になるはずだ
少しの間 身を任せていてくれ…いいな？
こくこく
うんっ
うん…っ
ちゅ
いい子だ
すっ
ビク
あっ
ダメ
たぷ
…美しい肌だな…
まるで陶器だ…
ハァハァ
恥ずかしい…のに…


ガラ ガラ ガラ
!!?
ちゅく。。ぬる
ぬる
ん…ッ
ビク
あ♡
くりくり♡
あ♡
そんなに可愛らしい声を出すな
馬車の外で御者(ぎょしゃ)が聞き耳をたてているぞ？
身体が言うこと聞いてくれない…っ
ビク
ひっ…っ
きもちぃっ♡
きもちぃ♡
じん♡じん♡
ぐぐぐ
ぐぐぐ
ニリニリ
俺は出来ればあまり聴かせたくないんだがな…
…それすらお構いなしか…
あ♡
あ♡
きゅう♡


あ…ッ♡
ぞわわわわ♡
れろれろ
ちゅっ
くちゅ
あぁ…
は♡
する
くちゅ…
あ♡
コリ…
ひっ…っ!?
ビリビリビリ
っ…ああ
困ったな…
ココで終わらせて
やろうと思ったん
だが…
よしよし
やっ
そこ
やらぁぁっ
ビクッ
ビクッ
ガクガク
あぁ
ビクンッ
あっ
過ぎた快感は
つらいか…
やぁっ


…なら 指
ナカに挿れるぞ？
いいな…？
はっ
なんでもいい
もうなんでも
いいから…
はっ
この熱から
解放して…っ
じゅん
あ…っ
は、やく…ぅ
ブク
ヒメ
ん…っ
ぬる…
ぬる…
ぬる…


小夜さん
痛くは…
ガラ
ガラ
あ♡
あ…っ
あ♡
あ♡
つあ♡
にゅぷ
にゅぷ
にゅぷ♡
にゅぷ♡
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ビク
ビク
なでなで
…なさそうだな…
くす…
と、ろ…
ー♡
ぞくぞく
ぞくぞく♡
は、ぁ…っ
なにか、きちゃ…
んあっ♡
ぞ…
ぎゅっ
ふぅっ…ー♡
かざと、さ…っ
あ
よく頑張ったな
我慢しなくていい…
っ♡


…っ
!?
ぬーぬ♡
ぬーぬ♡
ぐっ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぬゅうぅぅ♡

紳士、或イハ猛獣。
～富豪に奪われた乙女の純潔(1)

著者　虎井シグマ
発行　スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。


紳士或イハ猛獣。
2
富豪家に奪われた乙女の純潔
虎井シグマ
Sigma Torai

紳士、或イハ猛獣。
～富豪に奪われた乙女の純潔

第　2　話


ザアアアア…
…ここは…？
小夜さん
起きたか
体調はどうだ？
喉が乾いているだろう
風戸さん…？
私…？
あの後
気を失うように
眠ってしまったんだ
あの後…


あ…
わ、私
なんてことを…っ
ぱっ
た、助けて下さって
ありがとう
ございました
で、ですが
この事はどうか…
どうか記憶から
消して下さい
……
え…
…消せるわけが
ないだろう
…まあいい
今日からここが
君の部屋だ
必要な物があれば
言ってくれ


……はい？
気に入らないか？
別の部屋もあるが
あまり広すぎても
落ち着かないだろう
い、いえ
そうではなくて…
私は 家に
帰れるのでは
ないのですか…？
…何を言ってる
俺は君を金で
買ったんだ
今日から君は
俺のものだ
…そ…


そんな…！
やってることはあの方と変わりないではないですか…！
…そうだな…
…だが俺は奴のように痛いことや怖いことはしない
それに遅かれ早かれこうなったんだ
じっくり店に通って仲を深めるはずの予定は狂ったがな
…!?
な、何故…
何故そんなに私にこだわるのですか
きゃ…っ!?


藤田小夜…
…いや
藤堂小夜様…
ゴゴゴゴ…
君は
亡き藤堂伯爵の
一人娘だ
何故…
それを…
小夜さん


俺と結婚してもらうぞ
女性である君には爵位は継げないが
婿養子を取れば再び叙爵できる
今や帝都に無くてはならない風戸汽船の俺ならば宮内大臣の認許もおりるだろう
ずっと疑問だった
これほどの成功を収めた人が何故一介の女給に肩入れするのか
この人は…爵位目当てで私に近づいていたんだわ


——私は藤堂伯爵家に生まれた
母は身体が弱く
私が幼い頃に亡くなり
その後父は後妻を
迎えることなく
私は一人娘として育った
だけど2年前
その父が馬車の転落事故で
突然帰らぬ人となってしまい
娘しかいなかった
藤堂家は
爵位返上となった
父が亡くなる少し前
私には婚約の話が
上がっていた
私が結婚していれば
相手の男性が
襲爵できたのだが
その時の私は
まだ結婚は嫌だと
駄々をこねてしまったのだ

私のせいで藤堂家は没落した








…女を道具としか見ていないのですね
……
貴方は恩人ですが…
女を…まして藤堂を都合のいい道具にされるのは許せません
帰ります
残った財産には手をつけていません
払って頂いたお金はきちんとお返しします
…今すぐ出ていく必要はないんじゃないか？
外は雨だぞ
…どうぞお構いなく


ザアアアアアア
ばしゃっ
お金…実際には家を手放す際に使用人たちに財産を分けてしまったから残ったのはわずかだ…
ばしゃっ
ばしゃっ
そのお金がなくなれば藤堂家復興はますます難しくなるかもしれない…
でも、私は…
ぎゅ…っ
小夜様…っお待ち下さい…!!


…！
志津（しづ）…!?
あなたたちも…っ
どうして
うちの使用人が
風戸さんの屋敷に…
我々は藤堂家を
出た後
風戸家で働かせて
頂いております
小夜様
その後心配していました
ご無事で良かった…っ
そう…
でしたか…
と、とにかく
あなたたちも
濡れてしまうわ…
屋根の下


小夜様
どうか正臣様と
ご結婚されて下さい！
…え…？
私からも
お願い
します…！
藤堂家を立て直すのに
これ程好条件なお相手は
他におりません
と、突然どうしたの…
まさか脅されて
いるの…？
風戸家に何か
酷いことをされて
いるのでは…
と、とんでもない！
その逆です
正臣様は本当に
素晴らしい方です
正臣様になら
小夜様をお任せ
できると…
そんな…


…随分と慕われているのですね
…光栄だな
…小夜さん 冷静になって考えてみろ
君より格下の男爵家や子爵家からは引く手あまただろうが奴らは今や落ち目だ
金のない奴らに食い物にされ
共に没落に引きずり込まれるぞ


彼らの子を生むのは色んな意味で辛いと思うが？


かといって金持ちの成金を選ぶなら
少なくとも君より30は年上の好色爺ばかりだ


伯爵令嬢である君と
結婚出来るほどの
資金力があり
且つ若い男は
今の帝都には
俺しかいない
小夜様
大丈夫です
正臣様なら小夜様を
必ず幸せにして
下さいます
我々は先代藤堂伯爵に
大恩が御座います
藤堂家をこのまま
終わらせて欲しくは
ないのです
…当然だ
藤堂は私だけの
家じゃない
私が生まれるより長く
仕え住んでいた者も
沢山いた
それが、
私のせいで…
…分かりました


私にとっても
藤堂家の復興は
成さねばなりません
貴方のご厚意に
甘えましょう
小夜様…！
…ですが、
この身を許しても
心まで自由に
できるとは
思わないで下さい
ふ…まあ
いいだろう
君は
藤堂家のことだけを
考えていればいい


ぽさ
…！
とにかく中に入るんだ
そのままだと風邪をひく
誰か湯の準備を
してくれ
かしこまりました
……
はあ…
まさか
こんなことに
なるなんて…


でもあの子爵に売られるよりは良かったと思うべきだわ…
風戸さんが実際はどんな人か分からないけど
爵位目当てなのだから少なくとも結婚するまでは酷い扱いは受けないはず…
でもその後は…
つらく寂しい人生になるのでしょうね…
世間では自由恋愛が謳われているけれど…
そんなの本当にあるのかしら…
まあ華族の君には難しいだろうな
ぱしゃ
…っ
ちょ…っ!?


なっなんで
入ってくるん
ですか！
裸…!!
夫婦になるんだ
これくらい
当然だろう
ろ…!?
わ、私
あがります…！
こら
まだちゃんと
温まってないだろ
わっ
ばしゃんっ
…や、やっぱり
こういう事も
するのですか…
身は許すと
言っただろう
〜〜〜〜っっ


それに藤堂家を
存続させるなら
子は必要になる
君が俺を嫌ううちは
無理強いはしないが…
いずれはココで
俺の子種を
受け止めてもらう
ぱくっ
っ…
っ…最低です
…なんとでも
言うといい
君が目的のために
俺と婚約したように
俺にも成さねば
ならないことがある


だから君も
意地を張らず
俺を愛せば
楽になるぞ
っ
ぺろ
ぶるっ
ふにっ
すっ
そんなの
簡単に
言うけど…
ヤリ
ぶるっ
んっ
っ…
ぞくぞくっ
だったら
あ、貴方も…
ん？
ちゅ
ちゅ
ふに
ふに
ふ…
っ
貴方もこの先…
私を愛してくれると
言うのですか…？
ぞくっ
ヤリ
ぞくっ
んっ
ふに
ふに
ふに
俺は今でも十分
君を愛している
つもりだがな
…っ
ふ…


そんな口先だけの言葉で…
こんなこと…
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
でも…
我慢、しないと…
ビクビク
ぷっ
ぷっ
ぷっ
御家(おいえ)のため…
みんな我慢してる
ことなんだから…
よしゃっ
よしゃっ
にゅくっ
にゅくっ
にゅくっ
にゅくっ
ぶっ
ぶい


どうした
声を出さないのか？
昨夜はあんなに
乱れていただろう
ん…っ
ふ…っ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
あ、れは…
香のせいか？
ん…っ
…だが今も
こんなに
感じているぞ？
君には元々
淫らな素質が
ありそうだな…
は…っ
きゅうっ
ぞくぞくっ
や…
ちが…っ
だって…
こういうことは きっと
痛くて怖いだけだって
思ってたのに…
ちゅう。
ん…っ
こんなに優しく
触られるなんて…
ちゅ
ちゅ
こんなに
あ♡
びく
びく
あ…♡
ぴん
ぴん
ぬぷ♡
ぬぷ♡
ぬぷ♡
あっ♡
気持ちいいなんて…っ


ゼクシミ
ビクビク
ぎゅっ
ぎゅうう
ぐちゃぐちゃ
あっ…も…♡
にゅぷっ
にゅぷっ
にゅぷっ
きゅっ
きゅうん♡
ひくっ♡
ひくんっ♡
ぎゅ
…なんだもうイったのか？
ふてん
はは…
あ…
ふ…可愛いな…
とろ…
小夜さん…
ぎゅう
嫌…っ


ギク
つッ…
…誰かに操を立てているのか？
…っ
あ…ご、ごめんなさ…
ギシ
…俺の部屋に行くぞ
君が誰のものになったのか
その身に刻んでもらおう

紳士、或イハ猛獣。
～富豪に奪われた乙女の純潔(2)

著者　虎井シグマ
発行　スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。